

## 令和3年度第8回教育研究評議会議事録

日時 令和3年11月17日(水) 14:30～17:02 TV会議  
場所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室  
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、片田、池田、高倉、金原、本橋、近藤、  
田島、桐谷、熊倉、笹原、小西、田中、山本、喜多、木村、鳥山、加藤、  
江口、猪川、原、三村、朴、坂本の各評議員  
欠席者 川村、村山の各評議員  
陪席者 鈴木、河島の各監事、井柳、下村の各学長補佐  
厨子 大学教育センター長、長谷川 情報基盤センター長、北村 防災総合センター  
長

### I 前回議事録の承認について

令和3年度第7回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 静岡大学の将来構想について

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1-1により、令和2年度以降の会議等の開催状況、資料1-2により、第35回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和3年10月26日）、資料1-3により、静岡大学将来構想推進会議設置要項（案）、資料1-4により、令和5年度における魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増のスケジュール、資料1-5により、国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）事業期間を通じた評価に関する調書等の報告があり、意見交換を行った。

<議長の主な説明（資料記載事項以外）>

- ・ 静岡大学将来構想推進会議の構成員について、森田理事に委員として参画いただき、必要に応じて、川田理事にも参画いただき、浜松地区の状況等を説明いただく予定である。
- ・ 令和4年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増については、2大学が申請し不採択であり、採択要件等とてもハードルが高い。現在検討中の新学部については、この制度の利用は難しいと考え、申請は見送ることとした。なお、今後のこの制度の対応については引き続き検討したい。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、新学部の学生定員及び教員は学内の既存の学部から捻出するののかとの質問があり、議長から、地方創生枠については申請を見送り、新学部の輪郭を早く固めることを優先した。そのため、学生定員等は学内での再配置が必要である。カリキュラム等の具体的な作業を進め、再来週には一定程度の資料を用意し、各学部と相談させていただきたいとの発言があった。
- ・ 笹原委員から、決定自体に意義はないが、新学部に関わる教員を全て採用できるののかとの質問があり、議長から、非常勤講師やクロスアポイントメント制度の活用、教育組織整備要求を考えており、対応できるように検討を進めたいとの発言があった。
- ・ 笹原委員から、スケジュールについて質問があり、議長から、年度内に新学部構想を

詰めたいとの発言があった。

- ・ 近藤委員から、学内資源の再配置について、異動元の人件費ポイントはどうなるのかとの質問があり、議長から、新学部へ教員が移れば、異動元のポイントは異動した教員のみ減ることになるとの回答があった。また、小西委員から、異動した教員のポイント分だけ異動元から新学部に移るとの説明だが、これでは異動する教員が多くなるほど移動元の人件費が不公平に圧迫されてしまうため新学部への積極的な協力が難しくなるのでよい方法ではない。それよりは、例えば、全学でポイントを吸い上げ、再配分する方法はどうかとの発言があり、議長から、そのように、異動元の人件費が不公平に圧迫されないよう今後、各部局に相談する中で調整していきたいとの発言があった。なお、笹原委員から、現在の領域間異動の場合は、人は異動するが、ポイントは移動せず、異動先のポイントを利用することになっている（異動元の領域はそのポイントを使って後任の人事をできる）との発言があった。

## 2 伊豆半島ジオパーク推進協議会と国立大学法人静岡大学との包括連携に関する協定の締結について

塩尻委員から、伊豆半島ジオパーク推進協議会と国立大学法人静岡大学との包括連携に関する協定の締結について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 3 第4期中期目標・中期計画の実施に向けた今後の展開について

森田委員から、第4期中期目標・中期計画の実施に向けた今後の展開について、資料3により中期計画実施体制の提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、森田委員から、第4期中期計画及び評価指標の各年度の実施計画の作成依頼があり、意見交換を行った。

<委員から出された意見等>

- ・ 鈴木監事から、作業負担を少なくするため、計画に関連する部局を明確にし、進捗管理を進めてほしいとの発言があり、片田委員から、評価指標達成に向けた計画の実行により進捗を確認していくとの発言があった。また、鈴木監事から、評価指標に重きを置き、それに向けた取り組みとし、進捗状況も指標が達成されていれば記載しないなど、システムのフォーマットの改善をお願いしたいとの発言があった。
- ・ 江口委員から、3月以降に部局の計画を作成していくことになるが、新学部設置前後で地域創造学環の対応が異なってくるため、それを踏まえて指示いただきたいとの発言があった。
- ・ 近藤委員から、実施計画作成にあたり、関連する部局を記載することになるが、全ての事項について、事前に部局の了解を得る必要があるのかとの質問があり、森田委員から、事前に話しをしておいた方がよい事例もあると思うので、それはお願いしたいとの回答があった。
- ・ 近藤委員及び笹原委員から、部局の計画の記載内容について質問があり、森田委員から、中期計画にリンクするもの、していないものをそれぞれ記載いただくことを想定しフォーマットを作成する予定であり、組織改革など、部局の取組計画をお知らせいただき、全学支援体制等の検討を行いたいとの発言があった。

#### 4 学生の懲戒について

池田委員から、学生の懲戒処分案について、別添資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 令和3年度第7回企画戦略会議（令和3年11月4日）報告

議長から、令和3年度7回企画戦略会議（令和3年11月4日）について、資料4により報告があった。

#### 2 教員採用等報告について

議長から、教員の採用2件について、資料5により報告があった。

#### 3 令和3年秋の褒章及び叙勲について

議長から、令和3年秋の褒章及び叙勲受章者(4名)について、資料6により報告があった。

#### 4 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）における意見申立てへの対応について

金原委員から、令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）における意見申立てへの対応について、資料7により報告があった。

#### 5 共同利用・共同研究拠点等の第3期中期目標期間における期末評価結果について

川田委員及び三村委員から、共同利用・共同研究拠点等の第3期中期目標期間における期末評価結果について、資料8により報告があった。

#### 6 教員養成フラッグシップ大学への申請について

熊倉委員から、教員養成フラッグシップ大学への申請について、資料9により報告があった。

#### 7 令和3年10月入学大学院入学試験実施状況について

塩尻委員から、令和3年10月入学大学院入学試験実施状況について、資料10により報告があった。

#### 8 令和4年度行事予定表について

塩尻委員から、令和4年度行事予定表について、資料11により報告があった。  
<委員から出された意見等>

- ・ 笹原委員から、浜松キャンパス実施の健康診断について、掲載依頼があった。

#### 9 プロジェクト研究所の設置について

川田委員から、プロジェクト研究所の設置1件について、資料12により報告があった。

## 1 0 安全保障輸出管理教育及び監査の実施について

西村安全保障輸出等管理室員から、安全保障輸出管理教育及び監査の実施について、資料13により、昨年度実施結果の報告と本年実施内容等の案内があり、受講促進の働きかけの依頼があった。

## 1 1 Office365への2要素認証の導入について

長谷川情報基盤センター長から、Office365への2要素認証の導入について、資料14により報告があった。

## 1 2 静岡大学で発生した情報インシデントについて

長谷川情報基盤センター長から、静岡大学で発生した情報インシデントについて、資料15により再発防止策等を含め収束報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 小西委員から、不登校の学生等への対応について質問があり、長谷川センター長から、情報基盤センター窓口の体制強化、電子掲示板等を活用したアナウンスの実施を徹底する予定であるとの発言があった。

## 1 3 令和2年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について

森田委員から、令和2年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置の令和3年9月末現在の状況について、資料16により報告があった。

## IV その他

### 1 第1回教育・医療・福祉等多職種・他機関連携フォーラム（教育学部主催）の開催について

熊倉委員から、11月20日にオンライン開催する、「第1回教育・医療・福祉等多職種・他機関連携フォーラム（教育学部主催）」について、資料17により案内があった。

### 2 令和3年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施について

高倉委員から、令和3年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施について、資料18により案内があり、各部局の教職員へ周知するよう依頼があった。

### 3 グリーン科学技術研究所News Letter Vol. 10の発行について

朴委員から、グリーン科学技術研究所News Letter Vol. 10について、資料19により案内があった。

### 4 新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について

片田委員から、新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について、資料20により外国出張の取扱いの一部変更の説明があった。

### 5 女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボン運動）について

本橋委員から、女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボン運動）につい

て、席上配付資料により協力依頼があった。

以上